

筑波大学人文社会系 研究発信月間

第7回

日本語コミュニケーション 研究会

日時: 10月29日(土)

9:30-17:00

場所: 筑波大学

筑波キャンパス

人社棟A422教室

科学研究費補助金 基盤研究(C)研究課題番号15K02630「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究(代表 小野正樹)、基盤研究(C)研究課題番号25370529「発話機能を中心とする日本語配慮表現データベースの構築」(代表 山岡政紀)基盤研究(C)研究課題番号25370576「日本語の配慮表現に関する学習者コーパスの作成と対照研究」(代表 牧原功)

連絡先

小野正樹(筑波大学人文社会系)
ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

【研究発表】

- 9:30-10:00 吳佩珣(筑波大学大学院生)「日本語移動補助動詞テイクとテクルに関する一考察」
- 10:00-10:30 君村千尋(筑波大学大学院生)「日本語学習者の「のだ」文についての試論」
- 10:30-11:00 牛晶(筑波大学大学院生)「発話目的から見る前置き表現の日中対照研究」
- 11:15-11:45 LINA, ABDELHAMEED IBRAHIM ALI(カイロ大学講師)「語用論的転移における学習者の配慮表現について—エジプト人日本語学習者を対象に—」
- 11:45-12:15 大堀裕美(創価大学大学院生)「二重否定モダリティとしての「～ないと言ったら嘘になる」の意味・機能」

【研究報告】

- 13:30-14:15 山岡政紀(創価大学)「日本語配慮表現データベース構築の中間報告」

【シンポジウム】なぜ繰り返し表現は発話されるか

- 14:30-15:15 小野正樹(筑波大学) 吳佩珣・岩崎透(筑波大学大学院生)「日本語・中国語・ロシア語における繰り返し表現」
- 15:15-15:45 牧原功(群馬大学)「日本語の繰り返し表現のバリエーション」
- 15:45-16:15 李奇楠(北京大学)「繰り返し表現について—日中対照を兼ねて—」
- 16:30-17:00 ディスカッション
コメンテーター 張岩・Khulkar Turdieva Komilovna(筑波大学外国人受託研究員)